

ふくしま食・農再生戦略情報

第4回「大地の恵み感謝祭 in 相双」を開催

去る11月1日(土)、南相馬市の道の駅「南相馬」、ひがし生涯学習センターを会場として、「ふくしま食と農の絆づくり運動」の浸透などを目的とした「大地の恵み感謝祭 in 相双」が開催されました。

4回目となる今年は、「ゆったり どころり 相双の食と農」をテーマとして、豊かな農林水産物を実感してもらい地産地消や食育について考えてもらうため、「農林ウルトラクイズ」「森のパウムクーヘン」「農林業ミステリーツアー」「森のクラフト名人」などの参加型企画や地元農林水産物加工品の販売など31のコーナーを設置しました。

中でも、「10m有機米手巻き寿司づくり」や「きねつきもちで地産地消」コーナーでは、体験者だけでなく来場者にも寿司やつきたて餅が振る舞われ、長蛇の列ができるほど好評でした。



絆づくりの象徴「10m有機米手巻き寿司づくり」

秋晴れの中、約1500名の来場者は、思い思いに「観れて、触れて、味わってみる」イベントを楽しんでおり、「食と農の絆」がより強まった1日となりました。

(企画部)

田んぼから学ぼう!! ~うつくしま田んぼの学校~

「うつくしま田んぼの学校」は、田んぼや水路、ため池、里山などを、遊びと学びの場とし、米作りや、田んぼに住んでいる生きもの調査を通して、農業や農村、環境について、子どもたちに理解を深めてもらうことを目的に開校しています。

相双地方の指定校である浪江町立請戸小学校では、一年を通じて、田植え・稲刈り体験、田んぼや水路の生き物調査等の活動を行いました。関係機関はもちろんのこと、地域の応援団の方々にご指導いただきながら、児童は初めての田んぼの感触を満喫していました。田んぼや水路の生き物調査では、様々な生き物を採取し、それぞれの特徴を学びました。

11月下旬には、児童による田んぼの学校の学習発表や収穫したもち米を利用した餅つきが行われる予定です。

(農村整備部)



稲刈りの様子

里山の幸をいっぱい収穫!!

去る10月11日、「里山の幸体験ツアー in 相双」が新地町と相馬市で開催されました。このイベントは、県民に対し相双地方の豊かな農林産物や地域産品の視察・体験学習を通して、県産農林産物への理解を深めていただき、食育・地産地消の推進を図ることを目的としています。また、相双地方の「うつくしま農林水産ファンクラブ交流会」も兼ねており、ファンクラブ会員や一般消費者等、38名が参加しました。

はじめに、新地町の直売所「あぐりや」で、さつまいも掘り体験と直売所見学を行い、その後は、県内最大級の大型ハウス「新地グリーンファーム」で、トマトとパプリカ栽培の様子を見学しました。



キノコに理解を深める参加者

午後は、相馬市の工藤義行さん宅に移動し、野生キノコの観察や菌床シイタケの栽培施設を見学しました。

参加者は、イベントを通して地域の農林産物に親しみ、里山の幸の恵みを実感できたようです。

(企画部・森林林業部)

トピックス

「食彩ふくしま地産地消推進店」6店舗を認定

県では県産農林水産物を活用したメニューを提供し、地産地消の推進に協力いただく飲食店を「食彩ふくしま地産地消推進店」として認定しており、相双管内からも6店舗が認定を受けました。

認定を受けたのは、「農家レストラン 菜の花」(相馬市)、「割烹 やました」(相馬市)、「珈琲亭いこい」(南相馬市)、「旬の魚菜 旭亭」(南相馬市)、「新田川温泉はらまちユッサ」(南相馬市)、「お食事処 食彩庵」(南相馬市)で、平成23年3月までの期間、地産地消の推進を積極的に行っていただくこととなります。

推進店は、県産米100%の利用のほか、県産の食材を50%以上(品目数)使用しているメニューがあるなど、福島県の食材を使った料理を積極的に提供し、地産地消に意欲的に取り組んでいる飲食店です。これらの推進店を発端として、県内で生産されている豊富な農林水産物を多くの方々に知っていただくことにより、消費の拡大が図られることが期待されています。

なお、各推進店の詳細は相双農林事務所ホームページの中の「相双まるごと農林水産情報箱」でもご覧になれます。

(企画部)



兵(つわもの)紹介

～水稲有機栽培とグリーンツーリズムの先駆者～

あきもと よしたか
川内村 秋元 美誉さん



今回は、川内村で水稲有機栽培とグリーンツーリズム等を実践している秋元美誉さんを紹介します。秋元さんは現在65才、奥様のソノ子さんと二人、水稲・

和牛繁殖・タラノメを主に経営されています。とくにアイガモ除草による水稲栽培を8年前から取組まれ、平成19年には県の有機認証も取得されています。

また、その明るく前向きな人柄から村の活性化のためと、グリーンツーリズムへの活動も積極的に参加しています。都市と農村の交流事業である「農楽塾」塾長として、田植え、稲刈り、そば播きなど都会から来た方々へ農作業の指導を行っています。秋元ご夫婦の和やかな雰囲気と昔からの生活を大事にしたスタイルは訪れた人々を癒してくれています。今後のご活躍を期待しております。

(双葉農業普及所)



集落営農情報

農業経営講座

現地研修「集落営農へ園芸品目を導入して」を開催

農業振興普及部では、農業経営講座の中で個別農家とともに集落営農組織の経営高度化に向けた支援を行っています。

10月21日の農業経営講座では、園芸品目の導入を行った南相馬市小高区の3つの集落営農組織の現地研修を実施しました。

地区名	組織名	園芸品目取り組み内容
大井塚原	㈱アグリファームみらい	契約栽培のサトイモ栽培
下浦	下浦ひまわり生産組合	イチゴ栽培 アスパラガス栽培 直売所
上蛭沢	ファーム蛭沢	トルコギキョウ栽培



下浦ひまわり生産組合のイチゴ栽培ハウスでの研修風景

参加者は、集落営農の取り組みとともに経営高度化に向けた園芸品目の導入について学びました。
(農業振興普及部)

おめでとうございます

第33回福島県林業祭が10月25・26日に林業研究センター(郡山市安積町)で開催され、これに併せて、「福島県林業コンクール」・「福島県きのこ品評会」等の表彰式が行われました。管内では、優れた技術が高く評価された下記の方々があめでたく受賞されました。
(森林林業部)

福島県知事賞

林業コンクール 山林苗畑部門 南相馬市 上原 直光氏
林業コンクール 枝打技術部門 浪江町 高倉 正氏

福島県森林組合連合会長賞

林業コンクール 間伐技術部門 広野町 坂本久太郎氏

福島県木材協同組合連合会長賞

林業コンクール 枝打技術部門 南相馬市 遠藤扶久侍氏

林野庁長官賞

きのこ品評会 乾しいたけの部 南相馬市 佐藤 重信氏

全国農業協同組合連合会福島県本部長賞

きのこ品評会 生しいたけの部(原木栽培部門)

南相馬市 佐藤 重信氏



おしらせ

原油価格や肥料価格等高騰等でお困りの生産者の方々へ

原油や肥料価格の高騰は、農業経営に大きな影を落としており、生産者の皆さんは経営に大きな不安を抱えていることと思います。このため、県では、『経営相談窓口』を設置し、技術・経営面での支援を行っています。

1 窓口における相談対応

省エネルギー・省資源技術や施設の導入、経営安定のための資金融資など、経営に応じた相談をお受けしますので、お気軽に相談ください。

2 制度資金

経営安定や施設等整備のための制度資金が活用できます。

- ・農家経営安定資金
(燃料購入資金・農業経営高度化資金等)
- ・農林漁業セーフティネット資金(公庫資金)



・農業経営基盤強化資金(スーパーL資金)

・農業近代化資金

・経営体育成強化資金 等

3 補助事業等

・施設園芸分野等に関する緊急対策として、各種補助事業等が活用できます。

・強い農業づくり交付金 等

・担い手経営展開支援リース事業

4 ホームページでの情報提供

技術対策や制度資金等の情報を集約・掲載しています。

(<http://www.pref.fukushima.jp/norinsuisan/>)

『経営相談窓口』 農業振興普及部

(電話:0244-26-1152・1147)

ご意見・ご感想・PRしたい情報などをお寄せ下さい。

福島県相双農林事務所 企画部

〒975-0031 福島県南相馬市原町区錦町一丁目30番地

TEL:0244-26-1153 FAX:0244-26-1181

ホームページアドレス <http://www.pref.fukushima.jp/norin-sousou/>



ふくしま食と農の絆づくり運動

